



## 明日から楽しい夏休み（1学期終了）

延岡市内では、本日1学期の終業の日を迎えました。7月は暑い中での学習で大変な部分もあったと思いますが、子どもたちはよくがんばっていたと思います。保護者の皆様には、学校行事やPTA行事、プール監視等に御協力をいただき、本当にありがとうございました。



明日からは夏休みで、子どもたちは家庭で過ごすことになります。コロナウイルスや熱中症には引き続き注意しながら生活させてほしいと思います。また、最近はスマホやゲームばかりしていて、昼夜逆転するなど、生活のリズムの乱れから心身の健康を損なってしまう例も多く報告されています。生活リズムの計画を立て、規則正しい生活ができるよう御指導をお願いします。健康・安全に気を付け、楽しい夏休みを送ってほしいと思います。

## 通知表の配付時期について

延岡市の小学校では、昨年度から通知表の配付を前期と後期に分け、年2回の配付とすることになっています。本校では、前期分は9月30日に、後期分は3月末に配付します。したがって、本日は、子どもたちは通知表を持って帰りません。よろしくお願いします。



## 「1つずつがんばろう運動」「考えて動く」

学校の生活習慣をよくしていくために、全校みんなで1つずつ取り組んできた1学期でした。これまで取り組んできたことは次のとおりです。①靴箱のくつやトイレのスリッパ並べ、②教室やトイレのゴミ0、③教室の棚の整理の3つでした。整理整頓やきれいにするを中心に取り組んでもらいました。はじめはなかなか揃いませんでしたが、徐々によくなり、平均90点以上のクラスが多くなりました。2学期も継続し、学習習慣をよくするための取組にも挑戦してもらおう予定です。子どもたちのこれからのがんばりや成長がとても楽しみです。

また、今年は合い言葉「考えて動く」にも取り組んでもらっています。自分で考え、よいと思ったことをたくさんしようと呼びかけています。その中の1つに、登校中、道路に落ちているごみを拾ってくる子どもたちが増えてきました。はじめの頃は、毎日ごみ袋半分くらいたまっていました。最近は少なくなってきて子どもたちから「ごみがありませんでした。」という声を聞くようになってきました。子どもたちの行いが地域の美化に貢献していることが分かりうれしく思います。



【裏面へ続く→】

# 友達の作文が新聞に載りました！

スケーターせんしゅ

みたいになりたい

新五年 堀川 奏志

ぼくの好きなことは、スケートボードです。ぼくは一年いじょうしています。毎日練習しています。学校から帰って来て練習し、休みの日にも練習しています。動画を見たりお父さんに教えてもらったりしています。

少しずつだけど、わざができてきました。たまに、お父さんとお母さんがぼくがスケボーをしている時に見に来てくれます。

「うまくなってるじゃん。」と二人から言われた時はすごくうれしいです。もつともつとうまくなってお父さんお母さんに見せたいです。



【令和4年5月16日夕刊デイリー】

算数でわり算がはじまったよ

三年 橋山 璃音

三年生になって理科、社会、外国語がはじまってちょっとお姉さんになった気分です。その中でも、算数のわり算は、時間わりを見た時にどんなかんじかな？とワクワクしていました。じゅぎょうがはじまった時は、むずかしいのかな？とかんじました。だけど先生の話を聞いたら、かけ算を使うことが分かりました。それでわり算が楽しくなってきました。

わり算には、二つの意味があるそうです。一つ目は、全部を同じ数ずつに分けた時の一つ分の大きさをとめる事です。二つ目は、全体の中に同じ数の集まりがいくつあるかをとめる事です。

家にいちごがあったので、わたしとお兄ちゃんとお母さんの三人に同じ数ずつ分ける事にしました。いちごが二十一こあったので、トランプをくぼるみたいにお皿に分けていくと、二十一わる三は七という事が分かりました。

これからもならつた事を使って、あそんだり、お手つたいをしたりしてがんばりたいです。



【令和4年5月23日夕刊デイリー】

みんなに感謝を

五年 けむり山 希い

ぼくは一カ月前に、左足をこつ折しました。学校では先生たちや、友達に手伝ってもらってすごしています。ぼくの教室は3階にあります。いつもだったら一だんとぼしをしてスタスタとかけあがってすぐに教室にたどりついていました。でも、こつ折してからは、先生たちがぼくをおんぶして運んでくれたり、ぼくがのった車いすを持ちあげて運んでくれたりして、3階の教室がとても遠く感じます。

歩けないことがこんなにも大変で不自由だとは思いませんでした。

体育のじゅ業ができないこと、昼休みに外で遊べないこと、放課後友達といっしょに遊べないこと、毎年楽しみにしている体力テストがうけられなかったこと、たくさん

のことができなくなりました。ぼくは走ることが大好きです。足が治ったらおもいっきり走りたいです。そして、これからは自分の体を大切にしていきたいです。

おくりむかえをしてくれるお父さんやお母さんおばあちゃん、お手伝いしてくれる先生たちや友達に感謝しています。ありがとうございます。



【令和4年6月11日宮崎日日新聞】